

この地域の工業生産は、昭和四十二年に約四百十億円の出荷額をあげ、県下全体の工業生産の約二三%近くを占め、熊本地域に次ぐ実績を示している。その業種別構成も、有明地域や熊本地域の地方資源型工業に比べ、化学、紙・パルプなどの基礎資源工業の比重が最も高く、食料品などにおいても、大企業によるものが多くを占め、近代的工場による生産がこの地域の特徴となっている。

県は、この地域の工業開発と、貿易の振興を促すため、八代港を三角港や水俣港とともに、積極的に整備をすすめて、現在すでに一万五千トン岸壁二バースを建設しており、今後さらに、大規模の整備を進めていくこととしている。この港湾整備とあわせて、臨海部に約二百十ヘクタールに及ぶ工業用地の造成を進めており、すでにその一部約七十五ヘクタールについては、昭和四十四年度に完成した。最近にいたり、この臨海工業用地には石油配分基地が建設されるなど、将来に向かって、新たな脚光を浴びつつある。今後この地域の工業発展をはかるため、港湾の整備とあわせ、現在計画されている区域の未造成の臨海工業用地約百三十五ヘクタールの早期造成を進めるとともに、積極的な企業の誘致をはかる必要がある。

将来における企業立地の動向と、都市発展の方向を踏まえて、街路の整備をはじめとして、上水道、下水道、公園、緑地などの生活環境施設の整備など、積極的な都市計画を進め、土地の有効利用を促し、活力にあふれる住みよい工業都市の形成をはかる必要がある。

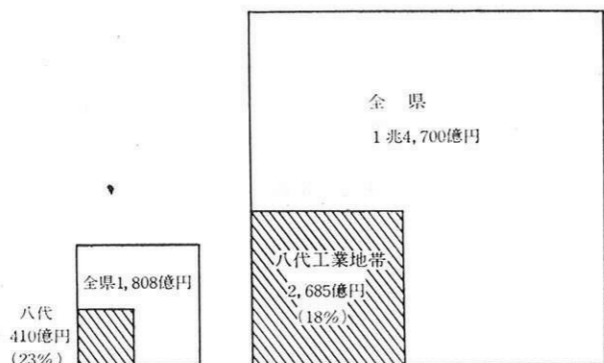
◇ 将来の展望

この地域は、宇土半島南岸から、天草草、芦北水俣地域に及ぶ広大な不知火海域総合開発計画の一環として開発が進められ、周辺の芦北、水俣、天草、宇土半島南岸一帯と深い関連を保ちながら発展していく。

港湾の整備はさらに進み、あわせて工業用地が造成されることによって、臨海工業地帯が形成され、その効果は、既存の大手企業による高い工業集積のある芦北、水俣地域までも及んでいくであろう。

またこの地域の周辺には、生産性の高い近代的な農業が営まれ、さらに芦北海岸のオレンジベルト地帯の農業の進展の将来、八代市地先からの締め切りによって生ずる淡水湖の活用など他産業の発展が期待されるほか、すぐれた観光資源によって観光レクリエーション地帯として

図1 八代工業地帯の工業出荷額シェア
— 対 全 県 比 —



昭42 昭60
注) 金額は、42年価格による。

開発の重要な基地ともなる。

このように、この地域は、工業をはじめ、産業の各分野において、大きな発展を遂げ、明るくて、活力にみなぎる地域社会が生まれることになるが、工業生産の面においては表一に示すように、昭和四十二年の四百十億円に対し、昭和五十年には、二・七倍の約千二百億円、昭和六十年には、六・五倍の約二千七百億円が見込まれる。

この地域が、昭和六十年に、工業出荷額約二千七百億円を達成するためには、表二のとおり、工業用地約五百七十ヘクタール、工業用水約九十四万立方メートル、日、労働力約二万三千人を必要とすることになる。

◇ 対策の方向と重要施策

1 既存工業の拡充と企業誘致の促進

この地域は、既存企業の大きな集積によって発展してきたが、今後においても、これらの企業が重要な役

(単位：億円)

表1 工業出荷額の見通し

| 業 種 | 基準年次 (昭42) | 年次構成比 (%) | 昭 50 | | 昭 60 | | 伸 び 率 (%) | | | | |
|---------------|------------|-----------|---------|-------|---------|-------|-----------|-----------|--------|------|-------|
| | | | 構成比 (%) | 金額 | 構成比 (%) | 金額 | 昭50/42 年率 | 昭60/50 年率 | 昭60/42 | | |
| 総 額 | 410 | 100.0 | 1,125 | 100.0 | 2,685 | 100.0 | 274 | 13.4 | 239 | 9.1 | 655 |
| 地 方 資 源 型 | 175 | 42.7 | 550 | 48.9 | 1,190 | 44.3 | 314 | 15.4 | 216 | 8.0 | 680 |
| 雑 財 型 | 7 | 1.7 | 50 | 4.4 | 135 | 5.0 | 714 | 27.9 | 270 | 10.4 | 1,929 |
| 基 礎 資 源 型 | 199 | 48.5 | 380 | 33.8 | 1,020 | 38.0 | 191 | 8.4 | 268 | 10.4 | 513 |
| 機 械 金 属 加 工 型 | 11 | 2.7 | 145 | 12.9 | 340 | 12.7 | 1,318 | 38.0 | 234 | 8.9 | 3,091 |

注) 1 金額は、42年価格による。
2 基準年次の総額には単位に満たないもの、および事業所数が一定以下のため公表しないものを含むので、必ずしも内訳の計とは一致しない。

表2 工業用地、用水および労働力の見通し

| 区 分 | 昭42 | 昭50 | 昭60 |
|---------------------------|-----|-----|-----|
| 工業用地 (ha) | 144 | 354 | 565 |
| 工業用水 (千m ³ /日) | 311 | 404 | 934 |
| 労働力 (千人) | 9 | 16 | 23 |

要がある。このため、労働力の確保、生産性の向上、公害防止施設の整備など、種々の面において、行政の側でも考慮する必要があるものについては、県および関係市町村が一体となり、所要の措置をすすめることとする。

新規企業の誘致については、県、関係市町村が相互に協力し、積極的にこれをすすめることとするが、八代地域と深い関係をもっている芦北水俣地域についても、既存工業の集積度が高いことにかんがみ、この地域と一体となった推進をはかる。

2 人材の養成確保

これらの工業には、技能者とともに



1万5000トン、2万トン岸壁の建設をはじめ、ふ頭、水面貯木場、関連道路の整備など八代港湾機能はさらに充実されていく……■